市民参加に関係する新しい事業や取組

(令和4年3月23日から令和4年7月11日までに広報発表されたもの)

広報発表日	(令和4年3月23日から令和4年7月11日までに仏報発表されたもの) 概要	所属
3月25日	京都市中央市場及び京都市中央食肉市場と立命館大学食マネジメント学部との包括連携協定の締結について この度、京都市中央市場及び京都市中央食肉市場と立命館大学食マネジメント学部の3者で、食に関する様々な 取組を進めるため、連携・協力に関する包括連携協定を下記のとおり締結しますので、お知らせします。 1 協定書調印式 日時 令和4年3月29日(火)午前9時~9時30分 2 連携・協力の目的 京都市中央市場及び京都市中央食肉市場、立命館大学食マネジメント学部が、相互に連携・協力を深め、人的、知 的資源の交流及び活用を図り、それらを通じて市場、地域及び大学の活性化に寄与し、SDGsの達成に貢献する こと、更には市場の取扱量の増加につながる取組を行うことを目的としています。 3 連携・協力の内容 (1)健康増進・食の充実・食育に係る情報発信及び活動に関すること (2)市場活性化・市場流通産品の普及に関すること (3)両市場、立命館大学食マネジメント学部の周辺地域の特徴を活かし、その魅力向上に関すること (4)大学の教育・研究活動及び人材育成に関すること	産業観光局 中央卸売市場 第一市場 中央卸売市場 第二市場
3月30日	 修学旅行向けSDGs探求学習プログラム 「Q都 (きゅーと) スタディトリップ」の運用開始について 京都への修学旅行は、日本の歴史・文化等を肌で感じることのできる貴重な学習の機会であり、将来の京都ファンになっていただく京都観光の原点です。 京都観光推進協議会では、観光関連事業者と京都市、京都市観光協会が連携し、安心安全で、質の高い修学旅行の受入環境の整備に取り組んでいます。 この度、本協議会は、学校の関心やニーズが高いSDGsに関する、探求学習プログラム「なんで?がいっぱい、京都と学ぶSDGs『Q都スタディトリップ』」の運用を開始しますので、お知らせします。 プログラムについて (1) 概要 「なんで?がいっぱい、京都と学ぶSDGs『Q都スタディトリップ』」は、SDGsに関する、探求学習プログラムです。 また、SDGs先進都市・京都ならではの各種学習コンテンツを御用意しており、生徒の皆様に「修学旅行でSDGsを学びたい!」「SDGsについてよく分かる!」と思っていただけるようなプログラムとなっています。 (2) 特設Webサイトについて 〈開設日時> 令和4年4月1日(金曜日)午後2時30分頃 https://q-sdgs.kyoto.travel/ <主な内容> ○ 導入として、SDGsや、京都でSDGsを学ぶ意義を動画等で紹介 ○ SDGsの17のゴールと関連する20件の学習コンテンツと、その提供企業・施設を紹介 〇 学習の補助資料「Q都スタディーシート」を提供 	産業観光局観光MICE推進室

広報発表日	概要	所属
3月31日	「大学のまち・学びのまち 左京 地域課題の解決に向けた取組」冊子の発行について 左京区内には6つの大学が集積していることから、各大学の持つ専門性や学生の柔軟な発想を活かし地域の課題 解決とまちづくりを進める取組を行っています。 この度、区内の6つの大学で取り組んでいる地域と連携したまちづくり活動を紹介する冊子「大学のまち・学び のまち 左京 地域課題の解決に向けた取組」を発行しますので、お知らせします。 1 主な内容 区内6大学(京都大学、京都工芸繊維大学、京都府立大学、京都精華大学、瓜生山学園京都芸術大学、京都ノートルダム女子大学)の学生が地域と連携して取り組んでいる活動を、自然環境、防災・消防、伝統行事、文化・芸術、福祉、観光の6つのテーマに分けて紹介。 2 仕様体裁 / 発行部数 A4、16頁フルカラー刷り / 500部発行 3 配布場所 区内各大学、大学コンソーシアム京都、左京区役所等 4 ホームページ 下記URL からデジタル版をご覧いただけます。(令和4年4月1日(金)~) https://www.city.kyoto.lg.jp/sakyo/page/0000296191.html	左京区役所 地域力推進室 企画担当
4月15日	公民連携・課題解決推進事業「KYOTO CITY OPEN LABO」 電照広告の空き枠を使った地下鉄の賑わい創出について~障害者アートで公共空間に感動と華やぎを~ 京都市では、公民連携・課題解決推進事業「KYOTO CITY OPEN LABO」において、民間企業等と行政が連携して、様々な課題解決に取り組んでいます。 この度、京都市交通局が提示した「電照広告の空き枠を使った地下鉄の賑わい創出」の課題に対し、特定非営利活動法人障碍者芸術推進研究機構(通称:天才アート KYOTO)から連携提案がありました。ついては、「オリジナリティあふれる障害者アート作品で公共空間に感動と華やぎを」生み出すべく、以下の取組を進めてまいりますので、お知らせします。 1 企画概要 一定期間、地下鉄駅の空枠となっている電照看板については、駅の印象を暗くするなどの課題となっています。そこで、「暗くて殺風景な駅の一角」から「明るく華やぎのある空間」へ転換するため、広告媒体を活用していただく事業者を募集しました。 そして、この度、特定非営利活動法人 障碍者芸術推進研究機構(通称:天才アートKYOTO)から提案を受け、地下鉄鳥丸線の駅のホーム及びコンコース内の電照広告の空き枠に障害者アート作品を掲示し、駅空間に感動と華やぎを創出します。 2 掲出期間 令和4年4月15日~令和5年3月頃(予定) 3 連携提案団体 団体名:特定非営利活動法人 障碍者芸術推進研究機構(通称:天才アートKYOTO)	総総SDGs 推 保障進 交企営 合合Gs 担 福保 局適 重策市当 祉健 高総進 局を民 局総推 部課

広報発表日	概要	所属
4月26日	ジャンボタニシ捕獲プロジェクト 西京区大原野地域の特産物の一つ、お米。ところが近年、大原野の田んぼでは、ジャンボタニシ(ジャンタニ) による水稲の食害が深刻化しており、収穫量の減少や営農意欲の低下等、農業への悪影響が出ています。 この度、ジャンボタニシの被害軽減を目指して、なんやかんや「大原野」推進協議会と、京都府立洛西高等学校 が連携し、ジャンボタニシの捕獲と肥料化による活用の試験的な取組を、下記のとおり実施しますので、お知らせ します。	洛西支所 地域力推進室 まちづくり推進 担当
	1 実施日時 【捕獲】 令和4年5月9日(月) 16時30分~ 10日(火) 16時30分~ 11日(水) 15時30分~ 12日(木) 16時30分~ 13日(金) 15時30分~ ※各日1時間程度実施。 雨天中止。 【肥料化】 令和4年5月14日(土) 9 時~ 捕獲したジャンボタニシは、竹と一緒に焼却し、「ジャンボタニシ肥料」として活用予定です。	
	2 実施場所 【 捕獲 】 大原野南春日町の田んぼ 【 肥料化 】 京都府立洛西高等学校 (西京区大原野西境谷町1丁目12 1 ・ 2 3 主 催 なんやかんや「大原野」推進協議会、京都府立洛西高等学校 4 協力・支援 京都市(産業観光局南部農業振興センター 洛西分室 、西京区 役所 洛西支所)	
5月24日	令和4年度京都市政出前トークについて 京都市では、平成15 年度から、市民の皆様に市政やまちづくりに関する理解を深め、市民参加の"きっかけ"と していただくことを目的に、市民の皆様が聞きたいテーマについて、担当職員がお伺いし御説明する「京都市政出 前トーク」を実施しており、この度、令和4年度のテーマ集を作成しました。 令和4年度は、「天然素材の漆の魅力とその可能性」、「生物多様性のために私たちにできること」等、新設 9テーマを含む、14分野265テーマを設けて、下記のとおり実施しますので、お知らせします。	総合企画局 総合政策室 SDGs·市民協働 推進担当
	1 実施期間 (1) 受付期間 令和4年6月1日(水)~令和5年5月31日(水) (2) 出講期間 令和4年7月1日(金)~令和5年6月30日(金) 2 実施時間 平日の午前10時~午後9時 3 テーマ等 265 テーマ(14 分野) 4 「持続可能な開発目標(SDGs)」の普及に係る取組について SDGs に関する京都市の取組を、市民の皆様に知っていただくために、各テーマに関連する目標がわかるよう表示しています。 5 実施対象 京都市内に在住、在勤又は通学する市民の皆様で、10人以上が参加される集まりで申し込むことができます。	

広報発表日	概要	所属
5月30日	公民連携・課題解決推進事業「KYOTO CITY OPEN LABO」 タクシー 駐停車マナー向上に向けた共同実証の実施結果について ~ナッジを活用した看板がもたらす行動変化~株式会社NTTデータ経営研究所と京都市は、公民連携・課題解決推進事業「KYOTO CITY OPEN LABO」において、四条通沿道のタクシーの駐停車マナー向上を目的として「ナッジ」を活用した実証実験(以下 本実証実験)を行い下記の成果を挙げることができましたので、お知らせします。 【背景】 市内有数の繁華街である四条通では一部のタクシーによる交差点や横断歩道付近での客待ちや四条通本線駐停車禁止上での客待ち停車などの道路交通法違反が多く発生しており、そのような行為が近隣バス停におけるバス発着の妨害や渋滞を発生させるなどの要因となっています。 本実証実験では人間の心理的な特性等を踏まえた工夫によって人々のより良い行動を促すナッジを活用することでタクシーの駐停車マナーの改善を目指しました。 【実証実験の概要】 ア 交差点付近での違法な客待ち車両の削減 ナッジの知見を活用した看板を四条河原町交差点南東角に設置し、当該地点におけるタクシーの違法停車時間を測定しました。 〈効果検証結果〉看板設置前に比べ設置後では一日あたりの違法停車時間の合計が約り割減少していたことが明らかになりました。 イ タクシー乗り場における規定台数を超えた車両の台数を測定しました。 〈効果検証結果〉看板設置前に比べ設置後では規定台数を超過して停車する台数が一日当たり西行で約7割、	都市計画局 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
6月30日	東行で約3割減少していたことが明らかになりました。 公民連携・課題解決推進事業「KYOTO CITY OPEN LABO」 音声ガイド付き点字・触地図実証実験について 京都市では、京都の生活文化にユニバーサルデザインの考え方を取り入れた、全ての人が暮らしやすい社会環境 づくり「みやこユニバーサルデザイン」を推進しています。 この度、公民連携・課題解決推進事業「KYOTO CITY OPEN LABO」において、本市が提示した課題「視覚障害のある人が主体的に観光を楽しめる観光環境の整備」について、大平印刷株式会社と連携し、下記のとおり実証実験を行いますのでお知らせします。 【連携事業・実証実験の概要】 視覚障害のある人が観光施設の全体像を把握し、自ら観光コースを選択・提案できるようにするためのツールとして、観光施設を凸凹で表現する「点字・触地図」を作製。あわせて、触地図の紙面をタッチすると詳細な音声解説(日本語・英語)を聴くことができる音声ペンと連携させています。 この「点字・触地図」及び音声ペンを使いながら、視覚障害のある方、外国の方等に、二条城二の丸御殿を観光していただき、使用感等についてヒアリングを実施することで、視覚障害のある方等の観光体験がより充実したものになるかを検証し、他の観光施設への導入等、今後の展開の可能性を探るための実証実験を行います。	保健福祉局 障害保健福祉室 総合企画局 総合政策室 SDGs・市民協働 推進担当

広報発表日	概要	所属
7月6日	京都発脱炭素ライフスタイル推進チーム~2050京創ミーティング~地域での生ごみ堆肥の活用推進プロジェクト「LFCコンポスト堆肥回収会&ミニ講座の開催について」 京都市は、二酸化炭素(CO2)を排出しない社会・経済活動への転換と併せて、脱炭素が生活の質の向上や豊かさにつながる、持続可能なライフスタイルへの転換を目指すため、「京都発脱炭素ライフスタイル推進チーム~2050京創ミーティング〜」のもと、一人ひとりの生活の中での選択が脱炭素につながるようなプロジェクトを創出しています。 この度、生ごみ堆肥の活用による資源循環モデルの拡充を目指す「地域での生ごみ堆肥の活用推進プロジェクト」のスタートイベントとして、大宮交通公園でLFCコンポスト(ローカルフードサイクリング株式会社が提供するバック型コンポスト)堆肥の回収会&ミニ講座等を開催しますので、お知らせします。本イベントで回収した堆肥は、大宮交通公園の樹木や花壇の堆肥として活用する予定です。 1 日時 令和4年7月23日(土)午前10時~午後4時2内容(1)ミニ講座 堆肥づくりの始め方、LFCコンポストの使い方説明 (2)堆肥の回収を相談【要予約。定員:午前と午後各6名】 LFCコンポストでできた堆肥の回収。堆肥づくりの専門家による相談(3)土中環境再生ツアー【要予約。定員:午前と午後各6名】※堆肥持参者限定大宮交通公園で取り組む、土壌を整える活動を紹介する園内ツアーの実施3主催 京都カフェkyoto 4 共催 京都市、ローカルフードサイクリング株式会社、公益財団法人京都市環境保全活動推進協会〈参考〉『京都発脱炭素ライフスタイル推進チーム~2050京創ミーティング』は、将来の京都を担う若者を中心とする市民、事業者及び学識者等の皆様と共に、2050年の京都にふさわしい脱炭素型のライフスタイル像や、それを実現するためのこの10年の目標・アクションを創るため、令和3年9月に発足しました。	環境政策局地球温暖化対策室